再生可能エネルギーの技術革新に応じた 各種計画、市ガイドラインの見直しは

社会情勢の変化などに注視し、必要に応じて見直しを行う



森下 田嘉治 自民クラブ

再生可能エネルギー普及に係る対応に ついて

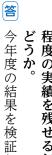
- **問** 太陽光・風力発電施設の設置に関するガイドライ ンの趣旨は十分浸透し、尊重されているか。
- (答) 風力は遵守されている。太陽光は自粛項目に適合 しない事案が6件あったが、概ね尊重されている。
- 問 小型風力発電事業の課題は。
- (答) 自然・生活環境や景観への影響が懸念される。騒 音など、地域住民との関係を考慮する必要がある。
- **問** 小型風力発電施設の設置に関する市ガイドライン が必要と感じるがどうか。
- (答) 当面は、資源エネルギー庁が策定した事業計画策 定ガイドラインで対応は可能と考える。
- **問 小型化した地域密着型バイオマス・バイオガスプ** ラントは本市にとって可能性はあるか。
- (答) 新たな技術にも注視し、可能性について情報収集 などを継続して行う。

- 問 太陽光発電施設と津波、高潮避難経路の位置関係 は無視できないと考えるがどうか。
- (答) 防災部局と連携して、設置上の注意事項などを伝 える。
- 問 再生可能エネルギーの技術革新に応じた各種計 画、市ガイドラインの対応は。
- (答) 国や県のエネルギー施策を始めとした社会情勢の 変化などに注視し、必要に応じて見直しを行うも のと考えている。



教員の負担軽減に寄与する部分はある。学校現場の声月からスタートしているが、田原市で導入する考えは。 を聞きながら、 国の省令の改正により、 研究していく。 「部活動指導員制度」

が今年



問

答

有効な採用制度として

募集対象や年齢枠も含め、

どうか。 程度の実績を残せる年代である40 力試験の対 象年齢を現 在 の 5 28 ~50歳以下にしては20歳以下から、ある

